

平成21年度第6回SPODネットワークコア運営協議会概要

日時：平成21年11月30日（月）13：00～15：30

場所：愛媛大学本部第2会議室

出席者：徳島大学 香川准教授、田中特任助教、吉田特任助教、森川学務課事務補佐員
出川学務課長、福川学務課教育企画係長

香川大学 葛城准教授、佐藤講師、篠原給与福利グループチーフ

高知大学 塩崎教授、大槻学務課能力開発アシスタント、中澤人事課SD担当事務員、
中山学務課専門職員、西村学務課事務補佐員

愛媛大学 小林教授、秦准教授、城間助教、大竹特定研究員、久保特定研究員、
板橋経営企画部長、米澤人事課長、大谷人事課副課長、

米田人事課人事政策チームリーダー、塩出人事課人材開発・サービスチームリーダー、
上田人事課事務補佐員

西尾教育企画課長、石川教育学生支援部員、大野教育企画課事務補佐員

議題等：

1. SPODフォーラムの実施について

愛媛大学小林教授から、資料1-1～2に基づき、SPODフォーラムの次年度以降の開催について説明があり、検討課題①については、SPODフォーラム2010を愛媛大学で開催すること及びその運営スタッフにコア校の担当者に入ってもらうことが了承された。また、開催日程やプログラム内容については、全加盟校に対してアンケートで要望等を調査した上で、検討することとなった。なお、2011以降の各コア校の持ち回り開催については、平成23年度以降のSPODの運営体制、運営経費、イベントの規模等が決まっていない状況では、学内での検討が行えないとの意見があった。検討の結果、平成23年度以降のSPODの運営体制等を検討するため、コア運営協議会のもとにプロジェクトチームを設置し、その結果をコア運営協議会に提案してもらうこととなった。

2. SPODプログラムガイド2010の作成について

愛媛大学小林教授から、資料2に基づき、研修プログラムガイド2010に掲載するプログラムの対象を本年度から全加盟校とする旨説明があった。これに伴い、各コア校に対して各県内加盟校の取りまとめが依頼され、愛媛大学でガイドブック原稿作成チェックリストを作成し、各コア校に送付することとなった。なお、愛媛大学大竹研究員、久保研究員から記載にあたっての留意点等の説明があった。説明後、以下のような要望があった。

- ・SDプログラム開発で連携している大学教育学会等への配付用に部数を追加（500部）してほしい。

- ・県内加盟校分をとりまとめるならば、提出期限を可能な限り延長してほしい。

上記の要望については検討し、その上で全加盟校へ依頼することとなった。

3. 大学教育改革プログラム合同フォーラムへの参加について

愛媛大学米澤人事課長から資料3に基づき、平成22年1月7日、8日に開催される平成21年度大学教育改革合同フォーラムにSPODが昨年度に引き続きポスターセッションに

参加し、全国に向けて情報発信するとの説明があった。

4. 教える仕事に就きたい大学院生のためのワークショップ報告書について

愛媛大学大竹研究員から、資料4に基づき、11月7日～8日に開催された教える仕事に就きたい大学院生のためのワークショップの報告があった。

5. ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップの開催について

愛媛大学小林教授から、資料5に基づきティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップの開催日程等について説明があり、各コア校の大学教育センター所属の教員への周知の依頼があった。引き続き、愛媛大学秦准教授からメンターになっていただく東京農工大学の加藤准教授の紹介及びスタッフ・ポートフォリオの手法を学ぶため、愛媛大学米澤人事課長及び菅人事労務管理室長がオブザーバー参加することについて説明があった。

6. SPOD 事業における学内実施体制について

愛媛大学西尾教育企画課長から資料6に基づき、聖カタリナ大学短期大学部、香川高等専門学校及び鳴門教育大学の学内実施体制図について説明があった。

7. SPOD 事業の実績の取りまとめについて

愛媛大学西尾教育企画課長から、資料7に基づき、文部科学省からの依頼に基づき提出した戦略的大学連携支援事業の取組事例について説明があった。また、文部科学省の戦略的大学連携支援事業が行政刷新会議において事業仕分けの対象となり、予算の縮減という結果になったが、SPOD の取り組みに関しては評価が高いこともあるため、来年度予算がどの程度になるか注目していく必要があるとの説明があった。

8. 平成 21 年度第 2 回 SPOD 愛媛県内加盟校会議について

愛媛大学西尾教育企画課長から資料8に基づき、愛媛県内加盟校からの要望等について説明があった。

9. SPOD 事業における職員交流研修の実施について

愛媛大学米澤人事課長から、資料9に基づき、愛媛大学と松山大学の職員交流研修の実施について説明があった。

(意見交換)

1. 詳細なニーズ調査について

愛媛大学小林教授から、短期大学及び高等専門学校のニーズ把握及びニーズに対応するようなプログラムの開発が必要であるとの提案があり、意見交換を行った。SPOD フォーラム開催にあたって短期大学や高等専門学校が参加できるプログラムを提供するとともに参加しやすい日程にするよう考慮する必要があるとの意見があった。また、ニーズ把握をする方法として、コア協議会に短期大学や高等専門学校の代表にも入っていただいてもいいのでは

ないかという意見があった。

2. 遠隔講義システム対応プログラム構築について

愛媛大学小林教授から、参考1～2に基づき、遠隔システムに対応するプログラムを作成する必要があるとの提案があり、意見交換の結果、効果的な遠隔配信に向けて検討していくこととなった。配布された送受信のマニュアルについては、実施しながら更新していくことの説明があった。

3. 平成23年度以降の運営体制について

愛媛大学西尾教育企画課長から、参考3に基づき、平成23年度以降の運営体制を検討するにあたり、規約を見直す必要があるとの説明があり、設置するプロジェクトチームで検討してもらうこととした。